

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ヤ グチ ヨ ブ 氏 名 矢 口 洋 生	職 名 教授 人間学部 GS 学科	取 得 学 位 平和研究修士 (大学名) ゴーシェン・ビブリカル・セミナー (取得年月)1986 年 5 月
------------------------------	----------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
・学生の理解度ををはかるためのリアクションの活用	2021 年 4 月～	学生がどの程度授業を理解しているのかを確認するために、また同時に、授業内容に対する意見や質問を限られた時間のうちに考えて表現する練習の機会として LMS と使用してリアクションを書かせている。授業の中で共有することによってアクティブラーニングを促進している。また集積されたデータは学期末に評価に反映する。2020 年度以降はオンライン授業やハイフレックス型の授業においても同様のことを試みている。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[共著] キリスト教平和主義の論点——アナバプティズム の視点から(『戦争と平和主義』)	共	2023.1	いのちのことば社		神田健二、他8名	38-59 頁
[論文] アナバプティズムの平和主義とその展開	単	2021.3	富坂キリスト教センター紀要第 1号			115-128 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本キリスト教文学会 日本宣教学会 日本基督教学会	東北支部事務局長(1990～)支部長(2006～)	1989 1989 1991

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ヤマダ メグミ 氏 名 山田 恵	職 名 教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学 科	取 得 学 位 博士(国際文化) (大学名) 東北大学大学院 (取得年月) 2006年3月
--------------------------	-----------------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1. 教育内容・方法の工夫		
・マイクロソフトパワーポイント等を用いた独自教材作成と活用	2010.4～現在	「アメリカの歴史と文化Ⅰ」「アメリカの歴史と文化Ⅱ」「アメリカの文学」といった講義科目においては、映像や写真を組み入れた独自の教材をパワーポイントで作成し、活用している。
2. 作成した教科書、教材、参考書		
『エスニシティと物語り—複眼的文学論』(金星堂)	2019.3	アメリカ文学をエスニシティの観点から紹介する『エスニシティと物語り—複眼的文学論』(金星堂)を共同で出版した。
・『アメリカン・ロードの物語学』(金星堂)の出版	2015.3	アメリカ文学をロード・ナラティブの観点から紹介する『アメリカン・ロードの物語学』(金星堂)を共同で出版した。
3. 教育方法・教育実践に関する発表・講演等		
4. その他教育活動上特記すべき事項		
・海外提携校の開拓・留学協定の締結と国際交流事業の推進	2013.4～2023.3	国際交流センター長として海外提携校の開拓につとめ、「静宜大学」(台湾)、「開南大学」(台湾)、「エディンバラ大学」(英国)、「誠信女子大学校」(韓国)との間で留学協定を結び、派遣・受け入れ留学の支援を行った。その他の国際交流事業も含め、学生の教育機会の拡充のために尽力して

・「グローバル・スタディーズ現地実習」の企画・引率	2014 年度～ 2018 年度	グローバル・スタディーズ学科の単位認定科目「グローバル・スタディーズ現地実習」の引率者としてオーストラリアのゴールドコースト市(2014 年度)、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタモニカ市(2015 年度～2016 年度)、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市(2017 年度～2018 年度)での英語研修の企画・引率を行った。
・グローバル・スタディーズ学科「異文化体験」の企画・引率	2017.3	グローバル・スタディーズ学科の単位認定科目「異文化体験」の引率者としてシンガポールでの文化体験研修の企画・事前指導・引率を行った。
・韓国誠信女子大学韓国語研修の企画・引率	2019.3	韓国誠信女子大学に協力をお願いし、4 週間の韓国語研修の企画・事前指導・引率を行った。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[書評] ブラック・ライブズ・スタディーズ—BML 運動を知る 15 のクリティカル・エッセイ	単著	2022.3	『東北アメリカ文学研究』第 45 号 (アメリカ文学会東北支部)			61-65 頁
[論文] レベッカ・コックス・ジャクソンの自伝に示された 19 世紀黒人女性の力の獲得について	単著	2019.3	『エスニシティと物語り—複眼的文学論』(金星堂)			200-213 頁
チャールズ・ジョンソンの『キング博士の冷蔵庫とその他のベッドタイムストーリー』における仏教的視点について	単著	2019.3	『仙台白百合女子大学紀要』第 23 号(仙台白百合女子大学)			17-25 頁 25-33 頁

ジャリナ・リーの自伝に見るブラック・フェミニズムの萌芽	単著	2017.3	『仙台白百合女子大学紀要』第 21 号(仙台白百合女子大学)			
自由のための新たなロードの物語 —チャールズ・ジョンソンの『牛追い物語』に示された東洋的「道」	単著	2015.3	『アメリカン・ロードの物語学』(金星堂)			265-278 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
『神との交流—スピリチュアル・ヒエラルキーの手引き』	単訳	2022.7.22	太陽出版			
『シグニファイイング・モンキー—もの騙る猿／アフロ・アメリカン文学批評理論—』	共訳	2009.12	南雲堂フェニックス	山田恵、他 9 名		353-381 頁

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
チャールズ・ジョンソンの『牛追い物語』—現代アフリカ系アメリカ作家のクロス・カルチュラル・ロード・ナラティブ	2012.3.28	日本女子大学文学部主催 学術交流企画公開ワークショップ「アメリカ文学における〈ロード〉の物語学

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
(国内) 日本アメリカ文学会	東北支部会計(2008.4～2012.3, 2019.4～2020.3) 東北支部幹事(2010.4～2012.3) 東北支部編集委員(2012.4～2014.3) 東北支部事務局長(2015.3～2017.3) 本部大会準備委員(2017.4～2018.3) 東北支部会計監査(2023.4～現在)	1993
東北大学国際文化学会	総務(1999.7～2001.7)	1995
日本アメリカ学会		1997
東北アメリカ学会	事務局次長(2007.7～現在)	2000
多民族学会(MESA)		2006
日本英文学会		2009
東北英文学会(日本英文学会東北支部)	大会準備委員(2009.4～2011.3) 大会準備委員(2014.3～2016.3)	2008
(国外) MLA(Modern Language Association)		1998

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)

3. 特記事項

--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ オガタ ミキ 氏 名 小形 美樹	職 名 教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取得学位 博士(経営学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 2012年3月
--------------------------	----------------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
・実務経験を活かした授業展開やビジネスゲームやアセスメントツールを用いた実践的な演習	2016年4月～	研修講師および人材育成コンサルタントとしての経験を活かし、企業研修で使用するアセスメントツールやビジネスゲームを用い、学生が自分自身の長所や短所を客観的に見つめたり、グループワークによって他者を理解し協調性を身につけたりできるような演習を実施した。また、実務家時代のビジネス現場の体験談を話すなどして、学生が今後のキャリアについて前向きに考えられるような授業展開を心掛けている。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 東日本大震災と社会教育	共著	2019年6月	東洋館出版	高橋 保幸	日本社会教育学会 執筆者21名	148-163 (149の一部を除く)
[論文] 1. 新学習指導要領における記録に関する指導内容	単著	2018年3月	レコード・マネジメント：記録 管理学会誌 (74)			48-68頁
2. 短期高等教育機関における教育の現状と課題 —大学編入生へのインタビュー調査から—	単著	2019年3月	研究紀要青葉 10(2)			105-115頁
3. 貧困世帯の子どもへの学習支援とその課題—	共著	2019年3月	研究紀要青葉 10(2)			117-129頁

支援団体へのインタビュー調査からの考察ー				佐藤 美輪	(共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
[研究ノート] 短期大学生の奨学金利用状況と将来予測の傾向	共著	2020年3月	研究紀要青葉 11(2)	佐藤 美輪	81-90頁 (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
[小論文コンクール優秀賞受賞論文] 「キャリア教育」としての「金融教育」ー大学における効果的な実施方法ー	単著	2016年12月	金融広報中央委員会 HP 第13回「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」 【小論文部門】優秀賞受賞 https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/concours_kyoin/2016/16kyoin001.html		総6頁
[実践報告] 2017年度インターンシップ実施報告：就職支援に結びつくインターンシップ	共著	2018年9月	研究紀要青葉 10(1)	佐藤 美輪	91-96頁
[資料] 1. 観光ビジネス学科学修成果報告(2018年度)	共著	2019年3月	研究紀要青葉 10(2)	金井 典子 佐藤 美輪 成澤 広幸	142-144頁
2. 観光ビジネス学科学修成果報告(2019年度)	共著	2020年3月	研究紀要青葉 11(2)	金井 典子 佐藤 美輪 成澤 広幸	97-100頁
[研究プロジェクト報告]	共著	2020年3月	レコード・マネジメント：記録	小川 千代子	59-60頁

記録管理学体系化に関する研究(その3)－記録管理学体系化の方向性探索とその成果－			管理学会誌 (78)	日野 祥智 益田 宏明 外 7 名		
--	--	--	------------	-------------------------	--	--

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1. 大学編入学生の進路選択プロセス	2018年12月	人材育成学会第16回年次大会(東海大学)
2. 貧困世帯の子どもへの学習支援とその課題(共同発表)	2019年11月	日本キャリア教育学会第41回研究大会(長崎大学)
3. 奨学金利用状況からみる短期大学生の実態	2020年10月	日本キャリア教育学会第42回研究大会(筑波大学 オンライン)
4. 新型コロナウイルス感染症が貧困世帯の子どもへの学習支援に与えた影響	2022年11月	日本キャリア教育学会第44回研究大会(秋田大学 オンライン)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
記録管理学会		2003年3月
日本キャリアデザイン学会		2004年10月
人材育成学会		2009年7月
日本キャリア教育学会		2009年9月
日本観光研究学会		2018年9月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度	助成プログラム	研究テーマ	助成金額

	(西暦)			(円)

3. 特記事項

[非常勤講師]

1. 東北大学経済学部(集中講義)(2007年～現在)
2. 山形大学人文社会科学部(集中講義)(2013年～現在)

[公開講座・講演会・研修会の講演等]

- ・2017年度先生のための金融教育セミナー大学分科会「キャリア教育としての金融教育」(金融広報中央委員会、2017年8月17日)

[社会的活動]

- ・仙台市社会教育委員の会議委員(2012年4月～2021年10月、うち2017年11月～2021年10月は、副委員長)

自己点検表

2023年5月31日更新

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	カケン 賈軍	職名 教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取得学位 博士(経済学) (大学名) 立正大学 (取得年月) 2003年3月
------------	-----------	---------------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
レジュメと PowerPoint による授業	2021年4月～	「経済学」の授業において、身近な生活現象を取り上げて作成したレジュメを配布し、それをテキストとして活用している。
中国語検定4級合格者8名、準4級合格者6名	2022年11月	中国語検定試験に対応できる語学力を養成するため、集中トレーニングを行い、DVD教材等を使用し、生の中国語に触れることで聴解力を強化した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 1. 「中国のSO _x 排出量とエネルギー経済の課題」古賀弘義編著『日本産業と中国経済の新世紀』	共著	2004.3	唯学書房	古賀弘義他 18名		245-258頁
2. 「山西省における公共財政システムの建設に関する研究」張改枝・原玉廷編著『山西経済問題研究』	共著	2009.4	山西経済出版社	王效梅・賈軍		256-268頁
3. 「山西省における大学生の就業の財政支援策に関する研究」趙満華・楊素青編著『山西民生—労働就業と収入分配の研究』	共著	2011.7	経済科学出版社	賈軍・王效梅		58-69頁

4. 「転換期における山西省地方財政の役割に関する研究」張改枝編著『転換期に迎える山西省の持続可能な経済発展』	共著	2012.3	中国財政経済出版社	賈軍・王效梅		44-50 頁
[論文]						
1. 「中国における二酸化硫黄抑制政策の基礎的検討-山西省の火力発電所に関する脱硫装置普及の課題」	単著	2006.2	仙台白百合女子大学紀要 第 10 号			41-52 頁
2. 「黄河流域における持続的成長の可能性—水資源確保に関する提言」	共著	2009.9	実践経営学研究 No.1	賈軍・浅野浩子		39-47 頁
3. 「黄河流域における水資源の需給と今後の課題」	共著	2010.9	実践経営学研究 No.2	賈軍・浅野浩子		13-18 頁
4. 「中国の石炭産業による環境汚染とその対策—SO2 排出量を中心に」	共著	2013.1	仙台白百合女子大学紀要 第 17 号	賈軍・浅野浩子		189-194 頁
5. 中国における「PM2.5 問題」の現状とその対策	単著	2015.2	仙台白百合女子大学紀要 第 19 号			55-64 頁
「その他」						
「大きな政府による国有企業の躍進と民間企業の衰退」	共著	2011.1	合作経済と科学技術第 408 期	賈軍・王效珍		100-101 頁
翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1.黄河流域における持続的成長の可能性—水資源確保に関する提言	2009年9月	(実践経営学会・第52回全国大会)
2.黄河流域における水資源の需給と今後の課題	2010年9月	(実践経営学会・第53回全国大会)
3. 中国の石炭産業による環境汚染とその対策—SO2 排出量を中心に	2012年7月	(実践経営学会・第55回全国大会)
4. 中国のエネルギー事情とPM2.5の問題に関する研究	2013年11月	(実践経営学会・第13回東北支部会)
5. 中国における自動車排気ガス起因による大気汚染PM2.5の問題について	2014年7月	(実践経営学会・第14回東北支部会)
6. 中国における「PM2.5問題」の現状とその対策	2014年8月	(実践経営学会・第57回全国会)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本マネジメント学会	会員	2013年4月～現在に至る
アジア経営学会	会員	2003年4月～現在に至る
東アジア産業研究会	会員	2000年4月～現在に至る
実践経営学会	会員	2009年4月～現在に至る

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

--

(3) 講義「キリスト教と教育」	2016.9～2022.3	カトリック大学でこどもと教育について 4 年間学んできたことの集大成として、本学部の目指す「人間の理解と援助」の具体像をキリスト教的価値観で統合することを目指す講義である。聖書に通ずる教育思想を紹介して、自らの教育経験を総括する課題に取り組みさせる。こうして学生各自が理想とする教師・学校・授業・教育のイメージを構築できるように指導する。
(4) 輪講「教職実習演習(中高/栄養)」	2014.9～現在	5 回の授業を通して、自らの教育実習の経験を振り返りながら、学校で課題となっている不登校やいじめ、保護者対応、専門連携などについて、ケーススタディーの分析とロールプレイング等を実践し、生徒理解や学級経営能力を身につけ、教師としての力量形成を図る。
(5) 輪講「国際福祉論」	2018.4～2018.7	キリスト教精神に基づき、心理福祉の国際活動を学びながら、国や地域を限定することなく幅広く正解の心理福祉について学ぶことを目的とする。
(6) 輪講「グローバル・スタディーズ基礎演習Ⅰ」	2013.4～2018.7	新入生への導入教育として、加藤はスタディ・スキルズ演習を担当する。具体的には、大学で学ぶために必要な技法として、ノートのとり方、レポートの書き方、情報収集の仕方、読書法、パワーポイントを使用した発表の仕方、などをグループワークの演習形式で身につける。
(7) 演習「グローバル・スタディーズ総合演習Ⅰ・Ⅱ」	2011.4～現在	「生きる意味」を見出すことをテーマとして、古今東西の幸福論、人生論、死生観を学び、人間の生き方について考える。特に、第二次世界大戦中の強制収容所体験を綴った『夜と霧』を講読し、著者の精神科医フランクルの心理学を検討する。一年間の演習を通して、各自の人生の課題を発見し、探求する方法を学ぶとともに、ゼミ生との討論を通して、自分の考えを発表する力を身につけ、自分を表現することを目指す。
(8) 演習「グローバル・スタディーズ総合演習Ⅲ・Ⅳ」	2011.4～現在	地球規模問題群を中心として、現代世界をめぐる諸問題についての理解を深め、解決の糸口を探るための手がかりとなる理論を学び、対処の可能性についてゼミ生と議論する。これにより、よりよい世界をつくるために人間は何ができるのか、そして、私は何ができるのか、自分なりの使命と希望を見出すことを目指す。併せて、受講生の問題意識に関連したテーマについて各自研究を進め、その成果をプレゼンテーションする。
(9) 卒業論文指導	2011.4～現在	各自が設定した研究課題について適切な方法で情報収集し、文献およびフィールドワーク調査を実施し、その結果についての的確に分析し、自らの考察を加えながら妥当な結論を導き出せるように、かつ、これらの過程を論文作法に則って表現できるように、適宜文献を紹介しながら、定期的に論文執筆を指導して、卒業論文完成に導く。
2. 教育方法・教育実践に関する発表 (2) 本学教職員合同研修会講師「遠隔授業の取組事例について」	2020.9	非常時の遠隔授業の体験から平常時のハイブリッド授業の可能性を探ることを目的として、2020 年前期オンライン授業の実践報告を行った。
3. ボランティア教育	2019.4～11 2017.8～現在	ノートルダム大聖堂募金をコーディネートし仏大使館へ寄付した。 光が丘スペルマン病院ボランティアへの参加募集を支援した。

4. 国際教育	2018.8	ASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)国際学生会議(広島大会)に参加する学生6名を引率した。
5. 宗教教育としての修道院招待	2011.12～ 2019.12	本学在校生・留学生・卒業生を修道院クリスマス会に招待した。
6. 海外研修引率	2018.3	GS 学科必修科目「異文化体験」のため、1名の教員と共に、学生30名を引率して香港・マカオ研修を実施した。
	2019.3	イタリア・フランス研修の団長として参加者25名を引率した。
	2020.3	イタリア・フランス研修の団長として参加者24名を引率した。
7. オープンキャンパス	2018.6	オープニング企画「白百合について知ろう！」を担当した。
	2018.6	グローバル・スタディーズ学科の模擬授業を実施した。
	2019.6	オープニング企画「白百合について知ろう！」を担当した。
	2019.6	グローバル・スタディーズ学科の模擬授業を実施した。
	2020.6	グローバル・スタディーズ学科の模擬授業を実施した。
	2020.12	オープニング「クリスマスの喜びが倍になる白百合の魅力」を担当した。
	2021.6	オープニング「白百合の魅力」と模擬授業を担当した。
	2022.12	オープニング「白百合の魅力」と模擬授業を担当した。
9. 講話の印刷発表	2018.3	「天国の住人とのつながりを生きる」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『講話集』第8号(89-92頁)掲載
	2018.3	「学問のすすめ」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『論集』第22号(147-154頁)掲載
	2019.3	「聖書にみる二つのいのち」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『講話集』第9号(99-103頁)掲載
	2019.3	「フランクルの『夜と霧』を読む」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『論集』第23号(65-100頁)掲載
	2020.3	「イエスの誕生物語にみる福音」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『講話集』第10号(101-107頁)掲載
	2020.3	「カトリック系教育機関で福音を伝えるためのQ&A」仙台白百合女子大学

10. 巡礼遠足の企画・実施	2021.3	カトリック研究所編『論集』第 24 号(125-124 頁)掲載 「ストーリーとしての建学の精神を生き継ぐ」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『論集』第 25 号(59-75 頁)掲載
	2022.3	「幸せになるための法則はあるのか」仙台白百合女子大学カトリック研究所編『論集』第 26 号(167-174 頁)掲載
	2018.11	平泉・水沢への東北キリシタン巡礼遠足を企画し学生 38 名を引率した。 大籠・石巻への東北キリシタン巡礼遠足を企画し学生 30 名を引率した。
	2019.11	

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[論文]						
1.「スピリチュアリティを育むカトリック大学の巡礼旅行」	単著	2018.3	『仙台白百合女子大学紀要』 第 22 号		仙台白百合女子大学 編	1-23 頁
2.「コーリング意識を育むカトリック大学のキャリア教育」	単著	2019.8	『カトリック研究』第 88 号		上智大学神学会編	29-48 頁
3.「教会の宣教におけるカトリック大学の使命と可能性」	単著	2021.8	『カトリック教育研究』第 38 号		日本カトリック教育学会編	33-72 頁
4.「カトリック大学のキャンパス・ミニストリーにおける福音宣教の在り方」	単著	2022.3	『仙台白百合女子大学紀要』 第 26 号		仙台白百合女子大学 編	1-15 頁
5.「授業実践の改善を目指して—教職課程科目を中心に—」	単著	2023.2	『教職課程研究センター報』第 2 号		本学教職課程研究セ ンター編	25-30 頁
[著書]						
1.『〈生きる意味〉の教育—スピリチュアリティを育むカトリック学校—』	単著	2020.5.24	教友社			全 462 頁
2.『アンジェラスの鐘—希望への招き—』	単著	2022.10.7	オリエンズ宗教研究所			全 272 頁

3.『いのちと霊性—キリスト教講演集—』 [その他]	共著	2023.2.11	教友社			全 474 頁
1.エッセイ「神からのコーリング(召命)のしるし」	単著	2019.4	キリスト教月刊誌『福音宣教』		オリエンズ宗教研究所	全 22 回
2.連載記事「アンジェラスの鐘」	単著	2020.1～2021.12	キリスト教月刊誌『福音宣教』		オリエンズ宗教研究所	34-40 頁
3.エッセイ「“待降節”と掛けて“再生”と解く その心は“ルルドの泉”」	単著	2020.11	キリスト教月刊誌『カトリック生活』12月号		ドン・ボスコ社	各 5500 字 4-6 頁
4.エッセイ「よりどころに立ち帰る」	単著	2021.11	聖書週間「聖書に親しむ」リーフレット		カトリック中央協議会	
5.エッセイ「闇が光に変わるとき」	単著	2022.12	キリスト教月刊誌『カトリック生活』1月号		ドン・ボスコ社	2-5 頁
6.エッセイ「人間の愛、神の愛—「たましい」と「しるし」—」		2023.2	キリスト教月刊誌『家庭の友』3月号		サン・パウロ	8-10 頁
7.連載記事「大人向け福音解説」		2022.4～現在	キリスト教週刊誌『こじか』		オリエンズ宗教研究所	毎号 1000 字程度
翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

I 学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1.「カトリック系教育機関で福音を伝えるための Q&A」	2018.9.7	日本カトリック教育学会第 42 回全国大会 ラウンドテーブル話題提供(於白百合女子大学)
2.シンポジスト提題 2:「青年期の生きる意味を支える宗教教育の可能性」	2019.2.23	日本カトリック教育学会特別企画Ⅱシンポジウム(於上智大学)
3.「カトリック教育は青年期の自己肯定感を育めるか」	2019.8.31	日本カトリック教育学会第 43 回全国大会 ラウンドテーブル話題提供(於南山大学)
4.シンポジスト提題 3:「自己肯定感を育むスピリチュアリティの教育—統合的教	2021.10.30-31	ソフィアシンポジウム「教育とヒューマニズムの邂逅」シンポジウム(於上智大学)

育への架け橋として— 4.シンポジスト提題 2:「かけがえのない魂への配慮」		2022.6.18	カトリック大学キリスト教文化研究所第 34 回協議会シンポジウム (於南山大学)	
II 所属学会				
学会名		役職		入会年月(西暦)
日本カトリック教育学会		全国理事		2002.4
東北教育哲学教育史学会				2005.4
日本質的心理学会				2005.4～2023.5
教育哲学会				2013.4
日本スピリチュアルケア学会				2021.7
日本宣教学会				2022.10
上智人間学会				2022.11
III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本カトリック大学連盟	2020	カトリック学術奨励金 共同研究	カトリック教育における自己肯定感—自己に関する神学と教育学の相互参与的実証研究(代表者:原敬子、共同研究者:武田なほみ、寺尾寿芳)	

(3)特記事項

<p>[講話等の講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012.9 日本カトリック教育学会第 36 回全国大会・自由研究発表第1セッション司会 於長野清泉女子大学 ・2013.2 本学カトリック研究所主催 2012 年度第 3 回研究会・講師 演題「生きる意味を教えることはできるか」 ・2014.1 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「生きる意味と聖書の物語」 ・2014.2 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「聖書と現代人のスピリチュアリティ」 ・2014.9 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「生きる意味の教育」講師 第1回「フランクフルに学ぶスピリチュアリティの育成」 ・2014.10 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「生きる意味の教育」講師 第2回「自己物語の創造と生きる意味の発見」 ・2015.1 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「エニアグラムとイエスの9つの顔」 ・2015.2 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「フランクフルの思想と生きる意味」 ・2015.10 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「フランクフルの思想—生きる意味を求めて—」講師 第1回「生きる意味への闘い」 ・2015.10 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「フランクフルの思想—生きる意味を求めて—」講師 第2回「ロゴセラピーと<魂への配慮>」

- ・2015.12 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「ユングのタイプ理論と自己実現」
- ・2016.6 本学人間発達研究センター主催第5回研究会・講師 演題「“生きる意味”の教育を目指して」
- ・2016.10 仙台白百合学園高等学校修養会・講師 演題「平和—よりよい世界を築くために—」
- ・2017.1 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「生きる意味と魂—フランクルの思想から—」講師 第1回「ロゴセラピーと魂の癒し」
- ・2017.1 本学オンキャンパス社会人講座・講師 演題「生きる意味と魂—フランクルの思想から—」講師 第2回「現代人の救いとスピリチュアリティ」
- ・2017.2 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「日本人の死生観と復活のイエス」
- ・2017.3 東北地区 SGH 課題研究発表フォーラム講師(コメンテーター) 於本学
- ・2017.7 光が丘スペルマン病院ボランティア養成講座・講師 演題「生きること、生かされていることの意味を問う」
- ・2017.9 本学カトリック研究所特別講座・講師 演題「フランクルの『夜と霧』を読む」
- ・2017.10 仙台白百合学園高等学校修養会・講師 演題「平和をつくる人は幸い」
- ・2017.10 聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会黙想会・講師 演題「人生に YES と言うために—ロゴセラピーに学ぶ—」
- ・2018.2 仙台白百合学園保護者講話会・講師 演題「死を超えるいのちへの希望」
- ・2018.3 白百合カフェ講話・講師 演題「聖書に学ぶ人生肯定法」
- ・2018.3 東仙台教会黙想会・講師 演題「過ぎ越しの神秘を生きる」
- ・2018.5 長野清泉女学院短期大学静修会・講師 演題「“愛”って何?～キリスト教を身近に」
- ・2018.7 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス講座・講師 演題「『夜と霧』に学ぶ“生きる意味”」
- ・2018.7 仙台赤門短期大学看護学科「人間学」講師 演題「看護を支える人間観—生きる意味とスピリチュアルケア—」(～現在)
- ・2018.9 日本カトリック教育学会第 42 回全国大会・自由研究発表第 1 セッション A 司会 於白百合女子大学
- ・2019.3 東北地区 SGH 課題研究発表フォーラム講師(コメンテーター) 於東北大学
- ・2019.4 ラボ教育センター東北支局講演会・講師 演題「こどものための未来教育—自己物語の創造と生きる意味の教育—」
- ・2019.9 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス講座・講師 演題「フランクルのロゴセラピーに学ぶ“生きる意味”」
- ・2019.10 盛岡白百合学園高等学校修養会・講師 演題「いのちが輝くために」
- ・2019.10 聖ウルスラ学院英智小学校静修会・講師 演題「希望をもって生きる」
- ・2020.10 盛岡白百合学園高等学校修養会・講師 演題「いのちが輝くとき」
- ・2021.9 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス講座・講師 演題「カミュ『ペスト』にみる不条理の生き方」
- ・2021.10 白百合女子大学修養会・講師 演題「いのちを輝かせて生きる」
- ・2021.10 聖ウルスラ学院英智高等学校静修会・講師 演題「あなたは愛されるために生まれた」
- ・2021.12 盛岡白百合学園高等学校修養会・講師 演題「いのちの輝き 神の愛」
- ・2022.1 本学カトリック研究所主催 2021 年度第 3 回研究会・講師 演題「カミュ『ペスト』を読む—不条理を生き抜く—」
- ・2022.9 日本カトリック児童施設協会東北ブロック職員研修会・講師 演題「世界で一つだけの魂のケア」
- ・2022.10 盛岡白百合学園高等学校修養会・講師 演題「いのちが輝くために」
- ・2022.10 聖ウルスラ学院英智高等学校静修会・講師 演題「希望の扉を開く」
- ・2022.10 八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校静修会・講師 演題「絶望のあるところに希望を」
- ・2023.2 児童養護施設 ラ・サール・ホーム園内研修会・講師 演題「かけがえのない魂のケア」
- ・2023.2 NPO 法人 生と死を考える会教養講座・講師 演題「ヴィクトル・フランク—苦難に臨む人間の態度とは—」

- ・2023.2 NPO 法人 スピリチュアルケア研究会ちば 講演会・講師 演題「生きる希望を育むスピリチュアルケア」
- ・2023.3 仙台白百合学園学園研修会・講師 演題「建学の精神の源泉に立ち帰る」
- ・2023.4 郡山ザベリオ学園教職員研修会・講師 演題「いのち輝く学校を目指して」
- ・2023.5 児童養護施設 仙台天使園職員研修会・講師 演題「命のケアと魂への配慮」
- ・2023.5 郡山ザベリオ学園キリスト教講演会・講師 演題「いのちを輝かせて生きる」

[大学管理運営上の実績]

- ・2014.4～現在 宗教委員会委員長
- ・2014.4～現在 カトリック研究所所長

[学外の活動]

- ・2013.4～現在 カトリック大学キリスト教文化研究所協議会会計監査
- ・2019.9～現在 日本カトリック教育学会全国理事
- ・2020.7～現在 IDE 大学協会東北支部実行委員会委員
- ・2021.4～現在 仙台放送番組審議会委員

[メディア報道]

- ・2019.4.16 NHK 仙台放送局『てれまさむね』「ノートルダム大聖堂火災、その時、加藤美紀さんは」
- ・2019.4.17 NHB 東日本放送『チャージ！』「ノートルダム大聖堂再建への祈り」
- ・2019.4.17 『日本産経新聞』夕刊「日本から仏へ復興祈る」
- ・2019.4.17 『産経新聞』朝刊「きっと再建できる/復旧祈りたい 日本文化人らエール」
- ・2019.11.24 『カトリック新聞』「ノートルダム大聖堂再建のための募金活動」
- ・2021.8.31 『河北新報』朝刊「宮城の大学ゼミナール探訪」
- ・2022.3～7 『河北新報』夕刊「まちかどエッセー」8 回連載
- ・2023.1.28 『産経新聞』朝刊「『ひふみん』の言葉に支えられて…次女が語る父、加藤一二三・九段の素顔

[受賞]

- ・2018.6.8 日本カトリック大学連盟学術奨励金「研究奨励賞」受賞
- ・2021.8.28 日本カトリック教育学会「学会賞」受賞

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	サカネ オサミ 坂根 治美	職名 特任教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取得学位 博士(教育学) (大学名) (東北大学) (取得年月) 2020年3月
------------	------------------	-----------------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
① 教育内容・方法の工夫	2021年度～ 2022年度	各担当科目の授業ではできるだけ女性に関するテーマを設定するとともに、それ以外のテーマに関する授業においても可能な限り女性の活動や発言の事例等をとりあげて、受講生の関心を高められるように努めた。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[博士論文] 1.「近代の高等教育機関と地域社会の文化変容 —絹織物産地桐生の修養主義に注目して—」	単	2020年3月	東北大学 (論文博士)			1～207頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

--	--	--

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本社会学会 日本教育社会学会	事務局研究部員(1997年11月～1998年10月)	1986年11月 1986年12月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

東北大学社会教育主事講習会講師[「社会教育演習」担当](1986年度～1993年度) 仙台市職員社会調査法研修会講師(1986年度) 仙台市立看護専門学校非常勤講師[「社会学」担当](1988年度～1993年度) 東北大学教養部非常勤講師[「教育学講読」担当](1989年度、1991年度) 東北労災看護専門学校非常勤講師[「社会学」担当](1990年度) 仙台大学生涯学習センター長(2010年度～2011年度) 宮城県柴田町社会教育委員(2010年度～2015年度) 公益財団法人日本高等教育評価機構大学機関別認証評価評価員(2017年度) 仙台大学非常勤講師[「教育社会学」「社会教育演習B」担当](2018年度)
--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	スナザワケンジ 砂澤健治	職名 人間学部	教授 グローバル・スタ ディーズ学科	取得学位 (大学名)	文学修士 東北学院大学 (取得年月) 1987年3月
------------	-----------------	------------	--------------------------	---------------	----------------------------------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
1. 「ヨーロッパの歴史と文化Ⅰ」における視聴覚授業の実践	2021.4	中世ヨーロッパの歴史・文化の理解のため、海外で制作されたシリーズもののDVDの活用。
2. 「言語文化論Ⅰ」「言語文化論Ⅱ」における視聴覚授業の実践	2022.4	BBC制作の「ことばのルーツを求めて」や、「書物5000年」(丸善)などのVHS教材の活用。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書]						
1. 『英語史研究ノート』	共著	2008.12	開文社出版		田島松治・末松信子 編	125-128, 180-182頁
2. 「Late ME における ‘neck’ の同義語について — <i>hals</i> , <i>neck</i> と <i>swire</i> を中心に —」 『片平五十周年記念論文集—英語英文学研究』	単著	2015.3	金星堂出版		片平会編	240-250頁
[論文]						
1. 「ME <i>roust</i> の用法について」	単著	2011.2	英語英文学論叢『片平』 第46号			1-8頁

2. 「 <i>The Canterbury Tales</i> の <i>The Reeve's Tale</i> における 'camus nose' について」	単著	2014.3	『仙台白百合女子大学紀要』 第 18 号			1-8 頁
3. 「Cotton Nero 詩群における 'flower' の類義語 — <i>blom, blosme</i> と <i>flour</i> について — 」		2016.3	『仙台白百合女子大学紀要』 第 20 号			11-18 頁
[その他] 1. 「鈴木榮一先生流の英語学と英語教育」		2014.3	『東北学院大学英学史年報』 第 35 号			23-29 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1. 「14 世紀英語における『顔』を表す言葉について」『OE と ME の文法と語彙— 限定性と指示性を中心に』シンポジウム講師	2014.8	片平会 50 周年記念大会(名古屋工業大学)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本中世英語英文学会	東支部幹事(2006.4 - 2010.3)	1984. 7
日本英文学会		1990. 5
日本英語学会		1994. 11
片平会		1996. 4
西洋中世学会		2008. 9

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

1. スーパー・イングリッシュ・ランゲエッジ・ハイスクール (SELHi) 運営指導委員(於:茨城県立高萩高等学校) 2006.4.-2009.3.

2. 学会活動

- ① 日本中世英語英文学会東支部 第24回大会 研究発表司会(杏林大学) 2008.6.28
- ② 日本中世英語英文学会 第25回全国大会 研究発表司会(慶応義塾大学) 2009.11.28
- ③ 片平会 第46回夏季研究会 研究発表司会(神戸:みのたにグリーンスポーツホテル) 2010.8.9

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ タカ ハシ サ ナエ 氏 名 高 橋 早 苗	職 名 教授 人間学部 グローバルスタディーズ学科	取 得 学 位 博士(教育学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 1999 年 12 月
--------------------------------	---------------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
・東北地方をフィールドとしたアクティブ・ラーニング	2011 年度～ 現在	3・11 発生以降、東日本大震災からの復興をテーマとして、学生の共同研究および個人研究を継続的に指導してきた。 もう 1 つの柱として、東北地方の多文化共生をテーマとして、3・4 年のゼミで調査研究を実施している。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 1. 交響する空間と場所 1:開かれた都市空間	共著	2015.1	法政大学出版局		吉原直樹・堀田泉編	129-164 頁
[論文]						

2. ニューヨーク市の停止・身体捜検政策の検討— Floyd v. City of New York(2013)を中心に—	共著	2016.7	『山形大学紀要(社会科学)』 47 巻	今野健一		69-82 頁
3. ニューヨーク市の最近のポリシング改革—Floyd 訴訟連邦地裁判決後の取り組み—	共著	2020.07	『山形大学紀要(社会科学)』 51 巻	今野健一		19-36 頁
4. パンデミック下のニューヨーク市におけるポリシ ング改革—ブラック・ライブズ・マターの高揚と銃器 犯罪の上昇—	共著	2022.07	『山形大学紀要(社会科学)』 53 巻	今野健一		35-52 頁
[翻訳]						
5. ポール・G・クレッシェー『タクシーダンス・ホール： 商業的娯楽と都市生活に関する社会学的研究』 (Paul G. Cressey, <i>The Taxi-Dance Hall: A Sociological Study in Commercialized Recreation</i>)	共訳	2017.10	ハーベスト社		桑原司・石沢真貴ほ か	130-192 頁

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本社会学会		1990
東北社会学会		1990
地域社会学会		1992
東北都市学会		1998

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
文部科学省	2015～2018年	科学研究費:基盤研究(C)	被災地のまちづくりと生活再建に関する調査研究(代表)	
	2015～2017年	科学研究費:基盤研究(C)	9・11後のニューヨーク:犯罪予防の刑事司法・都市再開発・市民的自由(分担)	
	2019～2022年	科学研究費:基盤研究(C)	トランプ政権下アメリカの対テロ・犯罪政策とマイノリティ市民の自由に及ぼす影響(分担)	

3. 特記事項

--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ハットフィールド スティーヴン 氏 名 HATFIELD STEVEN	職 名 学科 人間学部 Global Studies	取 得 学 位 文学修士 (大学名) 東北大学 (取得年月) 2008 年 3 月
--	--	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
<p>My teaching method has been to get students more enthusiastically interested in English to improve their English ability. I've also been trying to adjust my lessons to the needs of each student during this virus period.</p> <p>I've offered extended office hours throughout the week. I also offer office hours on Saturdays and Zoom lessons during spring and summer vacation periods.</p> <p>I am helping Global Studies and Human Development students with the EIKEN test.</p> <p>I want to give artistic students a chance to use their abilities and accomplish something extraordinary. I've published five children's storybooks with illustrations by six students. I'm presently working with more than 20 students in the Human Development and Global Studies departments on three books with their pictures.</p>		

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
The Wagamama Pasta Restaurant 4th Edition	単	2023.3	Amazon. KDP			頁計 46 頁
The Wendy and Wanda Chronicles: 2nd Edition	単	2022.11	Amazon. KDP			頁計 163 頁
Eugene's March and 2 More Kids Stories	単	2022.4	Amazon. KDP			頁計 46 頁
The Wagamama Pasta Restaurant 3rd Ed.	単	2022.1	Amazon KDP			頁計 32 頁
The Wendy and Wanda Chronicles: I Funnian	単	2021.7	Amazon KDP			頁計 31 頁
Thunder and Rain Are Friends & The Boo-Boo Bulldozer	単	2021.6	Amazon KDP			頁計 38 頁
The Wendy and Wanda Chronicles	単	2021.5	Amazon. KDP			頁計 121 頁
The Wagamama Pasta Restaurant	単	2021.5	Amazon KDP			頁計 38 頁
Otis Meal's Extraordinary Adventure	単	2021.5	Amazon KDP			頁計 24 頁
The Wagamama Restaurant & 2 More Magical Tales Textbook Version 2nd Edition	単	2021.5	Amazon KDP			頁計 195 頁
The Wagamama Restaurant & 2 More Tales of	単	2020. 8	Amazon KDP			頁計 148 頁

MAGIC: Textbook Version					99 頁-117 頁
Japanese University Students' Perspective on K-12 Bullying in Japan	共	2020.3	仙台白百合女子大学紀要 第 25		147 頁-149 頁
Repairing American Policies and Attitudes Regarding Mexican Immigration	共	2020.3	仙台白百合女子大学カトリック 研究所論集 第 24 号		121 頁-142 頁
Keeping the Black and Yellow Out of the Canadian Multicultural Mosaic	共	2019.3	仙台白百合女子大学紀要 第 24		頁計 118 頁
Funnian and Other Stories	単	2019. 5	Amazon. KDP		頁計 118 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)

--	--	--

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

1984年～1985年 USA長老教会の伝導事業計画に参加

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ クマ ガイ ケン ジ 氏 名 熊 谷 健 二	職 名 准教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取 得 学 位 修士(理学) (大学名) 広島大学 (取得年月) 1993 年 3 月
--------------------------------------	--------------------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1. ドローン・ロボット・AI を活用したゼミの実施	2020.4	ドローンやロボット、AI を活用して 3 年ゼミを実施した。
2. みやぎ県民大学講座「親子でチャレンジ！ロボット&AIプログラミング教室」をゼミで開催	2021.10	ドローンやロボット、AI を用いたワークショップをゼミで開催した。
3. いずみ絆プロジェクト支援事業「にこにこプログラミングプロジェクト」をゼミで開催	2022.10～12	ドローンやロボット、小型マイコンボード micro:bit を用いたワークショップをゼミで開催した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] [論文]						
1. アハ体験の記憶における効果の検討	共著	2007.3	人間の発達 第2号	大道直人 他3名		49-58 頁
2. ヘブライ語の学習過程における文字と単語の記憶成績の変化	共著	2008.3	人間の発達 第3号	大道直人 渡邊兼行		55-63 頁
3. 漢字認知の視線解析	共著	2009.10	人間の発達 第5号	大道直人 渡邊兼行		37-46 頁
4. Moodle による e-testing 学習支援システムの試行 - 社会福祉士国家試験対策システムを中心に -	共著	2010.3	仙台白百合女子大学紀要 第14号	大道直人 渡邊兼行 嘉村藍 他3名		101-114 頁
5. 書道家と非書道家の漢字認知における視線の比較 - 同一漢字のくずしの効果 -	共著	2011.2	仙台白百合女子大学紀要 第15号	大道直人 他3名		13-28 頁
6. Moodle による e-testing 学習支援システムの試行(2) - 社会福祉士国家試験対策システムを中心に -	共著	2012.1	仙台白百合女子大学紀要 第16号	嘉村藍 他3名		79-102 頁
7. e-learning による学年別社会福祉士国家試験対策システムの試行	共著	2013.3	人間の発達 第8号	嘉村藍 他3名		33-47 頁
8. 視線追尾実験による漢字認知過程の研究	共著	2015.2	仙台白百合女子大学紀要 第19号	大道直人 他3名		65-83 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		
II 所属学会						
学会名		役職		入会年月(西暦)		
日本物理学会 情報処理学会 日本教育工学会 日本テスト学会				1993.6～2009.3 2000.12～ 2006.1～ 2014.4～2020.3		

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

2004.4 ～ 2016.3 情報システム管理室長
2004.4 ～ 2016.3 TOPIC 仙台白百合女子大学ネットワーク運用責任者
2004.4 ～ 2016.3 JPNIC 仙台白百合女子大学ネットワーク運用責任者
2005.4 ～ 2008.3 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター附属仙台看護助産学校 非常勤講師
2022.4 ～ 情報システム管理室長

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	クマ ガイ ハル コ 熊谷 治子	職 名 講師 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取 得 学 位 博士(文学) (大学名) 白百合女子大学 (取得年月) 2017年2月
------------	---------------------	-------------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
英語 I・II (東北学院大学非常勤)	2007 2018	イギリス文化やアメリカ文化に関する英文を講読し、単語や読解に関する小テストを毎回行っている。英語をなぜ学ぶのか。英語をどのように学ぶのか。英語を学ぶことでどのように未来を豊かにできるのか。このような疑問を毎回投げかけることによって、学生の学習意欲の維持を狙っている。個別に、英語学習計画・実践の具体的アドバイスも行った。
入学前教育 (リメディアル英語)	2010 2022	2010年度より毎年、国際教養学科の入学前教育(英文法ドリル)の採点に取り組んできた。文法的なミスの箇所には説明を記し、重要構文については暗記するように指示をした。また、未記入の箇所には学習をうながすコメントをほどこした。手渡しする際に、一人一人に向けて、英語学習に関するアドバイス等を記した手紙も添付し、さらに在学中に英語関係の資格取得を勧めている。
英語 I・II(人間発達学科、健康栄養学科、心理福祉学科)	2012 2022	英語を専門分野としない学生に対して、学生の外国文化への興味を促すような映像等を授業中に紹介し、異文化理解を促した。音読やシャドーイングを取り入れて、英語に耳から親しむことも積極的に取り組んだ。健康栄養学科の授業では、英語での外国の食卓の説明や、人間発達学科の授業では、英語による子供向け絵本等を臨時教材として取り入れた。
English Tutorial I・II (グローバル・スタディーズ学科)	2013 2023	将来、英語を使って、どのように社会貢献したいのか。各自がその答えを見いだして、自立した英語学習スタイルを確立するよう促している。毎回の授業で、単語テストをし、不合格になった学生には、レポート提出および学習指導を行なっている。英語の楽しさを伝える一方で、積極的に英語関係の資格取得を促す指導もしている。学生には、まず在学中に 2000 時間英語を学習する必要性とその成果の説明をする。その上で、実際、毎週、何時間どのような英語学習をしたのか報告させている。必要に応じて、自宅学習のための本、アプリ、その他映像資料の紹介等も行っている。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 『音楽と絵画で読む T.S.エリオット』	単著	2018.11	彩流社			1-357 頁
『英米文学の地平 - W.ワーズワスから日系アメリカ人作家まで』 「ことばの対位法 - 『灰の水曜日』と『四つの四重奏曲』を中心として」	共著	2012.4	金星堂	田村一男他	田村一男 監修	99-115 頁
[論文] T.S.エリオットの初期詩編を読む—音楽と絵画を中心として		2017.2	白百合女子大学			1-321 頁
「ある婦人の肖像」における「ある婦人」と「ショパン」——私通の「エンハーモニック転調」をめぐって	単著	2016.11	T. S. Eliot Review No.27			83-98 頁
「エピグラフから読む「J.アルフレッド・プルフロックの恋歌」——「観察をめぐって」	単著	2016.2	仙台白百合女子大学 紀要 第 20 号			153-167 頁
「T. S. エリオット『灰の水曜日』の「音風景」——楽器、泉、階段、鳥をめぐって」	単著	2014.2	仙台白百合女子大学 紀要 第 18 号			91-105 頁
「モダンでクラシカルな音風景(サウンドスケープ)——『荒地』と『春の祭典』の「騒音(ノイズ)をめぐって」カトリック学術奨励金研究奨励賞受賞	単著	2012.12	『英文學研究』 (日本英文学会)第 89 巻			1-20 頁

「第三の性の仮面—『荒地』テイレシアス考	単著	2004.3	<i>Proceedings</i> 第3号 (東北英文学会)		14-19 頁
「 <i>Four Quartets</i> —非在の響き」	単著	2002.3	<i>Proceedings</i> 第1号 (東北英文学会)		14-20 頁
「 <i>Murder in the Cathedral</i> トーマスの越境—ドアのイメージを中心として—」	単著	2001.12	言語・文学研究センター論文集第2号(白百合女子大学言語・文学研究センター)		16-23 頁
「『荒地』の音楽的側面—ワーグナーのライトモチーフをめぐって」	単著	2000.12	言語・文学研究センター論文集第1号(白百合女子大学言語・文学研究センター)		27-36 頁
「『荒地』の音楽的側面—ワーグナーの楽劇との関連をめぐって」 第12回 ロゼンドルフ賞 受賞	単著	2000.10	<i>Soundings</i> 26号(サウンディングズ英語英文学会)		103-119 頁
「聞き手から語り手へ—“I don't hate it”のQuentin」		1999.3	<i>SELLA</i> 28号(白百合女子大学英語英文学会)		77-85 頁
[書評] Robert Crawford, <i>Young Eliot: From St Louis to The Waste Land</i>	単著	2021.3	Studies in English Literature English Number 62 (2021)		pp.77-84
[調査報告] 学科企画「英語勉強会」	単著	2017.3	仙台白百合女子大学学修支援センター		10 頁
学科企画「英語勉強会」	単著	2016.3	仙台白百合女子大学学修支援センター		20 頁
学科企画「英語勉強会」	単著	2015.3	仙台白百合女子大学学修支援センター		10 頁
[要旨報告] 「都市の音風景(サウンドスケープ)— <i>The Waste Land</i> 雑音考」	単著	2003.1	『英文学研究』(日本英文学会) 第80巻第2号		179 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ		発表年月(西暦)	発表場所			
・「サイクロンの余波——「バート・ノートン」の「聞こえない音楽」をめぐって」		2019.11	日本 T.S.エリオット協会全国大会(於 椋山女学園大学)			
・「エピグラフから読む T.S.エリオット「ある婦人の肖像」—「ジュリエットの墓の雰囲気」をめぐって」		2016.5	十七世紀英文学会全国大会(於 同志社大学)			
・「ジュリエットのカプリッチオー—T.S.エリオット「ある婦人の肖像」の私通をめぐって」		2016.3	十七世紀英文学会東北支部会(於 東北学院大学)			
・「「ある婦人の肖像」という音楽(の絵)」		2015.11	日本 T.S.エリオット協会全国大会(於 愛知学院大学)			
・「T.S.エリオットの詩における闇」		2014.3	英語圏文化・文学コロキウム 於:白百合女子大学			
・「「コルセット」をすてた詩人 T.S.エリオット—『荒地』における「聖なる騒音」をめぐって」		2013.8	言語・文学センター、英語英文学研究室共催 於:白百合女子大学			
・「黒い不協和音—T.S.エリオットのモダンでクラシカルな音風景」		2013.2	英語圏文化・文学コロキウム、言語・文学センター共催 於:白百合女子大学			
・「『荒地』における音と風景の交差点 — 騒音のライトモチーフを演出する舞台装置」		2010.11	日本 T.S.エリオット協会 第 23 回大会 於:尚綱学院大学			
・「テイレシアスは両性具有に生まれない、両性具有になる!？」		2003.9	東北英文学会第 58 回大会 於:弘前大学			
・「都市の音風景(サウンドスケープ) — <i>The Waste Land</i> 雑音考」		2003.5	日本英文学会第 75 回大会 於:成蹊大学			

・「T.S.エリオット, <i>Four Quartets</i> 「沈黙の音楽」について」	2001.9	東北英文学会 第 56 回大会 於:宮城教育大学
・「 <i>Murder in the Cathedral</i> トーマスの越境—」	2001.5	<i>Soundings</i> (サウンディングズ英語英文学会)第 43 回研究発表会 於:昭和女子大学
・「 <i>The Waste Land</i> の音楽的側面—ライトモチーフとしてのタロット・カード」	1999.11	日本 T.S.エリオット協会 第 12 回大会 於:成蹊大学

II 所属学会				
学会名		役職		入会年月(西暦)
日本T.S.エリオット協会 日本英文学会				1997.11 2000.5
III 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
科研費・若手研究	2021-2024	2021 年度～ 21K2950	T.S.エリオット『四つの四重奏曲』の「音風景」	600000 円

3. 特記事項

<p>講演</p> <p>・「「コルセット」をすてた詩人 T.S.エリオット—『荒地』における「聖なる騒音」をめぐる」言語・文学センター、英語英文学研究室共催 2013.8 於 白百合女子大学</p> <p>公開講座</p> <p>・みやぎ県民大学講座「原作探訪 —大江健三郎と村上春樹が引用した T.S.エリオット」 第 1 回:2019 年 9 月 28 日(土) 第 2 回:2019 年 10 月 5 日(土) 第 3 回:2019 年 10 月 12 日(土) 於 仙台白百合女子大学</p> <p>・学都仙台コンソーシアム サテライトキャンパス公開講座 2019 年 11 月 30 日(土)10:30~12:00 「ミュージカル『キャッツ』原作を読もう」 於 仙台市市民活動サポートセンター6 階セミナーホール</p>
--

カトリック学術奨励金研究奨励賞受賞 2012.6

実用英語技能検定準一級合格 2008.2

岩手医科大学非常勤講師 2018.9～現在

東北学院大学非常勤講師 2007.4～2018.3

白百合女子大学非常勤講師 2001.4～2002.3

ロゼンドルフ賞受賞 2001.5

中学教員専修免許(英語) 1999.3

高校教員専修免許(英語) 1999.3

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ダニエル フリードリッヒ Daniel FRIEDRICH	職名 人間学部	特任講師 GS 学科	取得学位 (大学名)	宗教学修士 Graduate Theological Union 2006年10月
------------	----------------------------------	------------	---------------	---------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
東京外国語大学、法政大学にて宗教学、日本研究において新たなクラスを開設。	2016年4月～ 2021年3月	宗教学、日本研究という学問を通して学生の英語力向上に努めた。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
Japanese Temple Buddhism, Depopulation and Questions of Survival.	共	2020年12月	駒沢女子大学研究起要			8

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
American Academy of Religion		2007
Association of Asian Studies		2009
Society of the Study of Japanese Religions		2010
国際真宗学会 (International Association of Shin Buddhist Studies)		2005

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ セバスティアン・マスロー 氏 名 Sebastian Maslow	職 名 講師 グローバル・スタディーズ学科	取得学位 修士(情報科学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 2009年9月
---	--------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
山形大学人文社会科学部との合同ゼミ実施 山形大学人文社会科学部との模擬国連の実施	通年 2022年11月	前期・後期、ディベート方式により合同ゼミを実施する ロシアによるウクライナ侵攻をテーマとし、国際法・国際関係論ゼミの学生による2日間の模擬国連を実施した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] Crisis Narratives, Institutional Change, and the Transformation of the Japanese State	共著	2021年11月	State University of New York Press		Christian Wirth	
Risk State: Japan's Foreign Policy in an Era of Uncertainty	共著	2018年4月	Routledge		Ra Mason 他	
[論文] The 2020/2021 Tokyo Olympics: Does Japan get the gold medal or the wooden spoon?	共著	2023年5月	Contemporary Japan 35(1)	Paul O' Shea		16-34 頁
「ドイツの戦争体験から『1★9★3★7(イクミナ)』を読む」	単著	2023年3月	文芸研究 150号			39-50 頁

Shinzō Abe und Japans Beziehungen zu China und den USA: Geopolitische Machtverschiebungen und strategische Neuausrichtung	単著	2022年11月	Japan 2022: Politik, Wirtschaft und Gesellschaft, Iudicium			44-53頁
From Green Growth to Green Diplomacy: Japanese Domestic and International Initiatives Towards a Carbon Neutral Society	単著	2022年4月	Hankuk University of Foreign Studies			77-92頁
「第三の波」の後に一新興民主主義国における政治的信頼と政党性の制度化	共著	2022年3月	臨床政治研究 12号	杉村豪一他		1-24頁
Introduction: Crisis Narratives, Institutional Change, and the Transformation of the Japanese State	共著	2021年11月	State University of New York Press	Christian Wirth		1-22頁
A State of Crisis: North Korean Missiles, Abductions, and the Transformation of Postwar Japan	共著	2021年11月	State University of New York Press	Ra Mason		239-264頁
Conclusion: Narrating Japan's Crisis, Narrating Japan's Rebirth	共著	2021年11月	State University of New York Press	Christian Wirth		289-301頁
"Making the alliance even greater": (Mis-)managing U.S.-Japan relations in the age of Trump	共著	2020年11月	Asian Security 17(2)	Paul O'Shea		195-215頁
Japan's new arms export policies: strategic aspirations and domestic constraints	共著	2020年11月	Australian Journal of International Affairs 74(6)	Alexandra Sakaki		649-669頁
Japan 2019: Inaugurating a new era?	共著	2020年7月	Asia Major 30	Giulio Pugliese		101-129頁
大学間交流と学生の国際認識—「キャンパス・アジア」に注目して	共著	2020年3月	常葉法学 7巻1号 (常葉大学)	杉村豪一他		97-122頁

北東アジアにおける国際教育協力の展開—キャンパス・アジアをめぐる政策決定過程に注目して	共著	2019年7月	国際協力論集(27巻1号) (神戸大学)	米沢竜也他		175-190頁
Japan 2018: Fleshing out the 《Free and Open Indo-Pacific》strategic vision	共著	2019年7月	Asia Maior 29	Giulio Pugliese		101-129頁
Japan's Foreign Policy	単著	2018年8月	Routledge			342-354頁
Japan 2017: Defending the Domestic and International Status Quo	共著	2018年7月	Asia Maior 28	Giulio Pugliese		93-112頁
Japans Reaktion auf den geostrategischen Machtwettbewerb zwischen China und den USA in Ostasien	単著	2018年6月	Nomos			99-123頁
日朝国交正常化交渉と拉致問題	単著	2018年4月	法律文化社			67-77頁
Knowledge Regimes in Post-Developmental States: Assessing the Role of Think Tanks in Japan's Economic and National Security Policymaking	単著	2018年3月	Pacific Affairs 99(1)			95-117頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		

Japan, South Korea, and the Sino-US Rivalry	2022年4月	Political Studies Association Annual Meeting
Falling into an alliance trap? How Japan's increased commitment to the US alliance is limiting strategic options	2022年4月	ISA Annual Convention
'Donald and Shinzo Make the Alliance Even Greater': Japan-US Alliance Narratives and the Trump Effect	2021年4月	ISA Annual Convention
Japan's Diplomatic and Security Practice under Abe Shinzo	2021年4月	ISA Annual Convention
日朝国交正常化交渉と拉致問題—「対話」・「圧力」外交と日本の「国難」	2019年11月	日本平和学会 2019年度秋季研究集会(於新潟県立大学)
A State of Crisis: North Korea and the Transformation of Japan's Postwar Security System	2019年7月	ISA Asia-Pacific Conference(於南洋理工大学)
Donald and Shinzo Make the Alliance Even Greater': Japan-US Alliance Narratives and the Trump Effect	2019年7月	ISA Asia-Pacific Conference(於南洋理工大学)
Japan's Changing Arms Export Policy: From 'Peace State' to International 'Arms Broker'?	2018年4月	International Studies Association Annual Convention(於サンフランシスコ)
Abe Shinzō and Japan's Changing Arms Export Policy	2017年8月	European Association for Japanese Studies Conference(於リスボン大学)
Japan as Number Three? Discursive Origins of Decline and State Transformation in the Pacific Century	2017年6月	ISA Asia-Pacific Conference(於香港大学)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本政治学会	政治学・国際関係論部会企画担当	2009年10月
日本国際政治学会		2009年10月
アメリカ政治学会(APSA)		2011年5月
世界国際政治学会(ISA)		2011年6月
ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)		2017年8月

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2018年	基盤研究(C)	日中韓大学間交流と北東アジアにおける集合的アイデンティティの形成(分担者)	0円
日本学術振興会	2018年	基盤研究(C)	大統領弾劾に関する国際比較研究(分担者)	0円
日本学術振興会	2020年	基盤研究(A)	財政再建国家化による政治変容の国際比較—民主的サブシステムの連続性と多様性(分担者)	450,000円
日本学術振興会	2021年	基盤研究(B)	韓国における民族主義的運動団体の研究—歴史認識問題に関わる団体を中心に(分担者)	300,000円

3. 特記事項

--